

アドミッション・ポリシー

京都薬科大学は、「愛学躬行」を建学精神とし、豊かな教養と人間性、高い倫理観にあふれた薬剤師や、医療および創薬・生命科学領域で貢献できる人材の養成を目指しています。入学者は本学の建学精神や教育理念・目標をよく理解し、薬学を学ぶことに強い熱意を持つ学生であることが求められます。

建学精神

本学の建学精神「愛学躬行」は「学問を愛すると共に、自ら実践すること」を意味しています。この建学精神は6年制教育に移行した現在も脈々と受け継がれており、医療薬学教育と創薬科学研究を両輪とする本学の基本方針の礎となっています。

教育理念および目標

本学は、「国民の健康を支える医療人として、生命の尊厳を基盤とし、人類の健康と福祉に貢献すること」を教育理念としており、「医療に関する幅広い専門知識、豊かな教養と人間性、高い倫理観を兼備した医療を支える薬剤師を養成すること、さらに、創薬科学、環境科学、社会薬学などの分野で貢献できる有為な人材を育成すること」を教育目標としています。

期待される学生像

- 理科や数学などの基礎科学に加え、英語能力など、薬学を学ぶ上でのバランスの取れた学力を身につけている人
- 高い学習意欲と知的探究心を持ち、常に自己を磨くことに努力を惜しまない人
- 物事の課題や問題点を考え、解決するための努力を惜しまない人
- 責任感や倫理観が強く、医療人としての思いやりと協調性を育んでゆける人
- 薬剤師という職業に魅力を感じ、その仕事に携わりたいという希望や意欲を有する人
- 基礎薬学・臨床薬学の研究者など、薬学の様々な領域で指導的立場に立って社会に貢献しようという意欲を有する人